平成23年3月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月12日

上 場 会 社 名　神戸発動機株式会社　上場取引所　大
コ ー ド 番 号　6016　URL　http://www.kobe-diesel.co.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）矢野　繁
問合せ先責任者　（役職名）管理部長　（氏名）山崎　靖宏　TEL　(078)　949－0800
四半期報告書提出予定日　平成22年8月12日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1.　平成23年3月期第１四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,306	△15.1	196	△40.1	195	△40.9	90	△59.0
22年3月期第1四半期	3,895	2.7	328	△32.0	330	△32.4	221	△20.9

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年3月期第1四半期	3　25	―　―
22年3月期第1四半期	7　91	―　―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年3月期第1四半期	17,963	8,519	47.4	304　64
22年3月期	18,173	8,520	46.9	304　65

（参考）　自己資本　23年3月期第1四半期　8,519百万円　22年3月期　8,520百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年3月期	―　―	―　―	―　―	3　00	3　00
23年3月期	―　―				
23年3月期（予想）		―　―	―　―	3　00	3　00

（注）　当四半期における配当予想の修正有無　：　無

3.　平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期（累計）	7,446	△13.9	251	△58.2	246	△58.8	118	△68.1	4　22
通期	13,732	△26.8	△201	―	△210	―	△215	―	△7　68

（注）　当四半期における業績予想の修正有無　：　無

4.　その他（詳細は、【添付資料】P.４「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　有

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

②　①以外の変更　　：　無

(3) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期1Ｑ	28,000,000株	22年3月期	28,000,000株
②　期末自己株式数	23年3月期1Ｑ	33,507株	22年3月期	32,517株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期1Ｑ	27,966,988株	22年3月期1Ｑ	27,969,381株

※四半期レビュー手続きの実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

〇添付資料の目次

1.　当四半期の業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 業績予想に関する定性的情報 …… 3
2.　その他の情報 …… 4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
3.　四半期財務諸表 …… 5
(1) 四半期貸借対照表 …… 5
(2) 四半期損益計算書 …… 7
【第１四半期累計期間】 …… 7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
4.　補足情報 …… 10
売上及び受注の状況 …… 10

※　当社は、プレス発表後速やかに当第１四半期決算短信をホームページで掲載する予定です。

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第１四半期会計期間におけるわが国経済は、海外で欧州信用不安問題の発生や米国の景気回復が足踏み状態にある中で、引続き新興国を中心とした外需要因により、緩やかな成長を続けました。

一方、わが国造船業界における新造船の受注は、依然として厳しい状況のうえ、船価の下落や資材高騰といった逆風も重なり、今まで以上に抜本的なコスト削減を推進していく必要に迫られております。

この様な状況下にあって、当社は受注・販売活動に全力を傾注しました結果、当第１四半期会計期間の売上高は、主力製品である舶用内燃機関では、23億８千９百万円と前年同四半期と比べ△２億８千２百万円（△10.6％）、修理・部品等は９億１千６百万円と前年同四半期と比べ△３億６百万円（△25.1％）、売上高の総額は33億６百万円と前年同四半期と比べ△５億８千９百万円（△15.1％）の各々減収となりました。

損益面は、部品売上が順調に推移したことや生産性向上に全力を傾注し、製造原価・販管費の圧縮に最大限注力しましたが、営業利益は１億９千６百万円と前年同四半期と比べ△１億３千１百万円(△40.1％)、経常利益は１億９千５百万円と前年同四半期に比べ△１億３千５百万円(△40.9％)、当四半期純利益は９千万円と前年同四半期と比べ△１億３千万円(△59.0％)の各々減益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（イ）資産

流動資産は、前事業年度末に比べ△1.8％減少し、133億１千５百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が４億４千４百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べ0.8％増加し、46億４千８百万円となりました。これは、主としてリース資産の計上によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ△1.2％減少し、179億６千３百万円となりました。

（ロ）負債

流動負債は、前事業年度末に比べ△0.3％減少し、70億６千万円となりました。これは、主として前受金が３億６千７百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が４億８千万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べ△7.3％減少し、23億８千４百万円となりました。これは、主として長期借入金が３億３千７百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ△2.2％減少し、94億４千４百万円となりました。

（ハ）純資産

純資産合計は、前事業年度末に比べ△0.0％減少し、85億１千９百万円となりました。これは、主として利益剰余金が６百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が７百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第１四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ４千６百万円減少し、44億６千６百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益１億９千４百万円、たな卸資産２億４千万円の増加及び売上債権８億１千１百万円、仕入債務４億８千４百万円の減少などがあり、営業活動によるキャッシュ・フローは３億２千９百万円となり、前年同四半期に比べ11億１千３百万円の収入の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは△１千６百万円となり、前年同四半期に比べ、１千５百万円の支出の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入金の返済等により、財務活動によるキャッシュ・フローは△３億５千８百万円となり、前年同四半期に比べ、４千４百万円の支出の減少となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第１四半期会計期間の業績につきましては、業績予想を上回る進捗率となっておりますが、鉄鋼等原材料価格や今後の海外情勢・景気の動向等、先行きの不透明感が払拭しきれない状況から、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想の修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は670千円及び税引前四半期純利益は10,589千円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は34,649千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第１四半期会計期間末 （平成22年６月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,466,913	4,512,980
受取手形及び売掛金	4,941,038	5,385,230
製品	870,332	651,729
仕掛品	2,361,466	2,351,897
原材料及び貯蔵品	529,834	517,065
その他	147,333	149,504
貸倒引当金	△1,702	△8,524
流動資産合計	13,315,215	13,559,884
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,484,682	2,500,329
その他（純額）	1,976,025	1,972,752
有形固定資産合計	4,460,708	4,473,081
無形固定資産	73,641	13,538
投資その他の資産	114,100	127,147
固定資産合計	4,648,450	4,613,766
資産合計	17,963,666	18,173,650
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,596,042	5,076,928
1年内返済予定の長期借入金	683,700	691,000
未払法人税等	99,403	33,775
前受金	813,714	446,099
引当金	302,854	296,941
その他	564,314	537,838
流動負債合計	7,060,028	7,082,583
固定負債		
長期借入金	1,897,800	2,235,300
退職給付引当金	221,441	205,097
その他の引当金	113,006	109,777
その他	151,761	20,603
固定負債合計	2,384,009	2,570,778
負債合計	9,444,037	9,653,361

（単位：千円）

	当第１四半期会計期間末 （平成22年６月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,215,000	2,215,000
資本剰余金	1,709,750	1,709,750
利益剰余金	4,587,876	4,580,948
自己株式	△6,371	△6,267
株主資本合計	8,506,255	8,499,431
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,373	20,857
評価・換算差額等合計	13,373	20,857
純資産合計	8,519,629	8,520,288
負債純資産合計	17,963,666	18,173,650

(2) 四半期損益計算書

【第１四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）
売上高	3,895,831	3,306,083
売上原価	3,255,179	2,832,835
売上総利益	640,651	473,247
販売費及び一般管理費	311,853	276,349
営業利益	328,798	196,898
営業外収益		
受取利息及び配当金	701	1,011
受取家賃	5,238	2,040
雑収入	2,414	2,931
営業外収益合計	8,354	5,982
営業外費用		
支払利息	4,994	4,816
雑損失	1,753	2,731
営業外費用合計	6,747	7,548
経常利益	330,406	195,332
特別利益		
貸倒引当金戻入額	234	6,822
固定資産売却益	－	2,567
役員退職慰労引当金戻入額	20,719	－
特別利益合計	20,953	9,389
特別損失		
固定資産除却損	－	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	9,918
特別損失合計	－	9,958
税引前四半期純利益	351,359	194,763
法人税、住民税及び事業税	103,000	93,000
法人税等調整額	27,001	10,932
法人税等合計	130,001	103,932
四半期純利益	221,357	90,830

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	351,359	194,763
減価償却費	155,301	131,117
引当金の増減額（△は減少）	△26,502	18,663
受取利息及び受取配当金	△701	△1,011
支払利息	4,994	4,816
売上債権の増減額（△は増加）	2,311,710	811,807
たな卸資産の増減額（△は増加）	△809,892	△240,941
仕入債務の増減額（△は減少）	72,987	△484,944
未払消費税等の増減額（△は減少）	△69,461	△17,069
その他の流動資産の増減額（△は増加）	2,251	1,494
その他の流動負債の増減額（△は減少）	34,415	△71,931
その他の固定資産の増減額（△は増加）	△480	7,645
小計	2,025,982	354,410
利息及び配当金の受取額	701	1,011
利息の支払額	△9,674	△9,760
法人税等の支払額	△573,975	△16,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,443,035	329,289
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,574	△25,842
投資有価証券の取得による支出	△88	△88
貸付金の回収による収入	126	－
有形固定資産の売却による収入	－	9,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,537	△16,531
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△402,200	△344,800
自己株式の取得による支出	△107	△103
配当金の支払額	△620	△6,131
その他の支出	－	△7,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	△402,927	△358,825
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,008,570	△46,067
現金及び現金同等物の期首残高	2,828,224	4,512,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,836,795	4,466,913

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

売上及び受注の状況

①【売上高明細表】

（単位：千円、千円未満切捨て）

事業区分	当四半期会計期間		前四半期会計期間		（参考）	
	（平成23年３月期第１四半期）		（平成22年３月期第１四半期）		（平成22年３月期）	
	金　　額	比率(%)	金　　額	比率(%)	金　　額	比率(%)
舶用内燃機関	2,389,173	72.3	2,672,132	68.6	13,918,137	74.2
修理・部品	916,910	27.7	1,223,699	31.4	4,833,646	25.8
合計	3,306,083	100.0	3,895,831	100.0	18,751,783	100.0

②【受注状況】

（単位：千円、千円未満切捨て）

事業区分		当四半期会計期間		前四半期会計期間		（参考）	
		（平成23年3月期第１四半期）		（平成22年3月期第１四半期）		（平成22年3月期）	
		金　　額	構成比	金　　額	構成比	金　　額	構成比
受注高			%		%		%
	舶用内燃機関	3,507,373	81.3	2,526,874	72.1	7,888,073	67.0
	修理・部品	808,983	18.7	980,199	27.9	3,879,173	33.0
合計		4,316,356	100.0	3,507,073	100.0	11,767,246	100.0
受注残高			%		%		%
	舶用内燃機関	15,761,591	96.3	20,528,197	93.5	14,643,391	95.4
	修理・部品	605,500	3.7	1,424,400	6.5	713,427	4.6
合計		16,367,091	100.0	21,952,597	100.0	15,356,818	100.0